

令和6年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立真備陵南高等学校
校長氏名	細川 欣洋

○本校のスクールミッション（使命、存在意義）

多様な学習ニーズに応える市立定時制高等学校として、学び直しを含めた基礎学力の定着や地域との連携により、自己実現を支援し、自立した社会人となるために必要な力を育むきめ細やかな教育活動を通して、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

- ①地域と連携して安心・安全な環境づくりと社会に開かれた教育課程の実現に努め、主体的・体験的・探究的な学びの場における活躍を創出することにより、生徒の自己有用感を高める。
- ②生徒が抱える個々の課題を理解したうえで、それぞれに適切な目標設定とその達成を企図した学習指導、生徒指導、進路指導を進め、基礎学力と社会人基礎力を伸長させる。
- ③生徒の個性や多様な価値観を認め、自他の命と権利を尊重する人権教育、道徳教育、防災教育を進め、共生社会の担い手となる意思と態度を養い、地域に送り出す。

○ 当該年度の学校経営目標・計画

※ 教科・学年・分掌等を横断した教職員の協働によって、生徒一人ひとりの夢や目標の達成に向けた挑戦を後押し、その経験や過程を評価することで社会的自立をうながす。

◇重点課題

- 「授業スタンダード」や授業参観、校外外の公開授業を活用するなどして、各教員が授業改善に向けた不断の取組を行う。
- 落ち着いた生活習慣の定着を支援するとともに、生徒会を中心に委員会と連携し、生徒主体の行事の企画・運営に努める。
- 3年間・4年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒の自己実現を図るために必要な職業観・勤労観を育成するとともに、生徒一人ひとりの進路実現を目指す。
- 生徒が快適に学べる環境づくり及び多様化する生徒の情報共有を行うための組織的な教育相談体制づくりを進め、健康・安全や防災・減災に努める能力の育成を図る。

◇具体的な重点項目

教務課

- (1) 新課程での観点別評価の適切な運用を行うべく教科を超えた情報の交換・共有を積極的にを行い、これらを通じて各人が評価のあり方について検証を重ね、評価の適正化に努める。
- (2) 毎時間（もしくは小単元ごと）に、内容をまとめる時間や、授業の取り組み方や疑問点等を振り返る時間を設定し、それを教員がチェックすることで、生徒の学びの変化を把握し、評価の適正化や授業改善につなげる。

生徒課

- (1) 生徒の基本的な生活習慣が定着し、規範意識を身につけることができるよう支援する。
- (2) 生徒が学校行事や部活動・委員会活動等に積極的に参加し、社会人基礎力を身に付けることができるよう支援する。

進路課

- (1) キャリア教育を充実させ、自己の将来を主体的に考え行動できる能力の育成を図るとともに、適切な進路情報の提供を行って進路意識の向上を目指す。
- (2) 就労体験や進路相談を通して、個々の生徒の進路希望に応じたきめ細やかな進路指導に努める。

厚生課

- (1) 健康・安全・防災・減災に関する知識の啓発と、保護者との連携・協力で、生徒が健康で安全な生活を営むための意識を向上させるとともに、その能力・態度の育成を図る。
- (2) ユニバーサルデザインを基本とした教室整備を進めて、落ち着いた学習できる環境づくりに取り組む。また、年団を超えて、生徒情報の交換・共有を行い、効果的かつ効率の良い相談支援・指導体制の充実を図る。

年団

- (1) 生徒が教育活動の中で自己有用感を実感できるように、場面の提供に加え、個に応じた働きかけや支援を行う。
- (2) 社会人基礎力について、入学から卒業までを見据えた継続的な育成ができるよう年団間で連携を進める。

学校運営

- (1) 地域社会や外部機関との連携を進めることで社会に開かれた学校づくりに努め、広報活動を通じて本校の魅力を積極的に発信する。
- (2) 各課・年団内の業務において協力・協働体制の確立を図るとともに、分掌・年団を越えたつながりも密にすることにより、組織力のある学校づくりを進める。